

校訓
 <正・強・美>

学校教育目標
心豊かで活力のある生徒の育成

何ができるようになるか

学校経営目標

「チーム富士岡」ともに「感動」ある学校づくり

- 自ら考え、ともに学び合う授業づくり
 「授業がわかる」と答える生徒 85%以上(R1/80.0%)
- 安心・安全で、笑顔あふれる環境づくり
 「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上(R1/75.5%)
 「楽しく生活できる」と答える生徒 95%以上(R1/93.1%)
- 「チーム富士岡」生徒・保護者・地域・教職員の連携による
 共汗、共感ある学校づくり
 「学校生活で感動することがあった」と答える生徒 80%以上(R1/69.7%)

県の重点

- 「有徳の人」の育成
- ①「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現
- ②未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現
- ③社会総がかりで取り組む教育の実現

市の重点目標

- 「誠実さ」「やる気」「思いやり」を身につけ、言葉や態度で表すことのできる子
- 学ぶ意欲を持ち、基礎基本を身につけ、学び合い、よく考え、それを表現できる子
- 健康的なからだづくりを意識した生活を送り、やりぬく気持ちを大切にできる子

実現するためには何が必要か

富士岡地区幼保小中連携・一貫教育 目指す生徒像

『豊かな心を育み、自己実現を図ろうとする富士岡っ子』

- ・あいさつができる、ありがとうが言える子
- ・かめわり合いで学ぶ楽しさを味わう授業、保育（「道徳」を窓口として）
- ・黙勤の深化

※「キャリアパスポート」による指導の充実

「チーム富士岡」推進委員会（学校評議員・学校関係者評価委員）

- ☆地域、保護者、学校の連携
- ・授業支援 ・学習支援 ・環境づくり ・部活動外部コーチ 等

CHECK

何を学ぶか(教育課程の編成)⇔どのように学ぶか(教育課程の実施)⇔何が身に付いたか(検証)
 学校経営目標達成のために (経営の重点)

◎確かな学力を身につけさせるように、授業改善を進める。

- 「主体的・対話的で深い学び」のための『しなやか』の探究・充実により学習評価を通じた授業改善を実践する
- 教材・教具及び板書の工夫、ICTの活用等、視覚に訴える授業を実践する
- 補充学習等を計画的に進める（長期休業中、テスト前等）

◎環境づくり、人間関係づくりを意識した安全・安心な学級づくりを進める。

- 安全な教育環境づくりに努め、安心できる居場所を保障する
- さわやかなあいさつ、積極的関わり合いで笑顔あふれる学校生活を築く
- 特別支援教育、道徳教育を充実させ、豊かな心を育成する→子供がかけがえのない存在

◎「チーム富士岡」生徒・保護者・地域・教職員の連携により、富士岡地区の子どもたちの健全育成を図る。

- 外部Tの授業支援・地域学習等による体験の多様化から得る豊かな学び
- 外部と連携した訓練・体験による安全への主体的姿勢の涵養

DO

ACTION

PLAN

「働き方改革」による生徒への指導の充実・深化